

宇美町

エコトリコ

(2019年広報11月号)

宇美町にお住いの皆さんいかがお過ごしですか？前号ではプラスチックごみのお話でしたが、今月号は生活ごみのお話です。宇美町内で収集される可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみなどの量は平成28年度が10,115t、平成29年度が9,936t、平成30年度が9,908tとわずかずつではあります。減少傾向にあります。(環境課調べ)このうち可燃ごみは篠栗町にある「クリーンパークわかすぎ」で、破

砕・選別・成形を経て発電施設の燃料として再利用されています。資源ごみはリサイクルセンター「エコル」で材質別に選別されリサイクル製品の原料となります。不燃ごみは、エコルで破砕後リサイクルできないものは宇美町衛生センター最終処分場で埋め立て処理されています。

いずれの処理でも「分別」をしっかりとしておくこと、水気をできるだけ少なくしておくことが非常に大切です。「ちよつと面倒ねー」とお思いですか？各家庭から出されるごみの減量と併せて、地球温暖化防止への思いと行いを子どもたちはしっかりと見ています。

焼却場が日本国内にはまだまだたくさんありますが、その施設から排出されるCO₂の削減策が喫緊の課題とされ

ている中、宇美町ではできるだけCO₂を排出しない処理方法を選択しています。地球温暖化問題は決して他人事ではなく私たちの将来の問題なのです。決して「私ひとりがそんなことをしても…」などと思わないでください。私たち1人ひとりが廃棄しているごみが年間9,000t以上にもなっているのです。

1人ひとりでは微力であっても無力ではありません。



文責

福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆

